

カリキュラム・ポリシー(専攻科)

本校専攻科では、専攻科の「ディプロマ・ポリシー」に定める能力を身につけるため、準学士課程のカリキュラム・ポリシーを引き継ぎ、発展させて、「精深な程度において工学の高度な専門的知識と技術を教授するとともに、その研究を指導することにより、広く産業および学術の発展に寄与すること」を目的としたカリキュラムを編成しています。

各専攻共通

1. 工学の基礎としての、数学および自然科学に関する知識とそれらを応用する科目を配置します。
2. 各専攻の専門分野において必要とされる専門的知識と基礎技術およびそれらを応用し新しい技術に対応できる能力を身につける科目を配置します。
3. 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける科目を配置します。
4. 自主的、継続的に学習する能力を身につける科目を配置します。
5. 地域と世界に対する理解を深め、地域創生や人類の発展に貢献する意欲および技術者としての倫理観を涵養する科目を配置します。

システム創成工学専攻

6. 新規システムを開発する際に要求される、専門分野が異なるチームで仕事をし、与えられた制約の下で計画的に仕事を進める能力や、種々の技術を組み合わせても技術的な問題を解決する力を身につける科目を配置します。

物質創成工学専攻

6. 環境に優しい新材料やエネルギーシステム、あるいはバイオテクノロジーなど、地球環境と調和した社会の持続的発展を実現するために必要な新しい科学技術を創出する力と化学研究者・技術者としての確かなリテラシーおよび国際競争力を身につける科目を配置します。

連携教育プログラム

6. 幅広い分野横断的俯瞰力を身につけるため、専門分野の枠を超えた科目履修および大学との共同開設科目を配置します。

■教育課程の実施方針

- i. ディプロマ・ポリシーに定めた能力の育成をカリキュラム・ポリシーの中で実現させるよう、シラバスを作成し、カリキュラム・ポリシーの各項目に対して
 - 1には講義と演習
 - 2には講義と実験実習
 - 3には講義やグループ演習
 - 4には講義、少人数教育やアクティブラーニング
 - 5には講義、PBL や COOP 教育
 - 6には[システム創成工学専攻]講義、少人数教育やアクティブラーニング
 [物質創成工学専攻]講義、少人数教育やアクティブラーニング
 [連携教育プログラム]講義や大学との共同教育
 を実施します。
- ii. 学生の主体的学習を促進するため、授業外における様々な取り組みを推奨します。
- iii. 学修成果の評価は、それぞれの開講科目のシラバスに示された授業の到達目標に対する達成度について、成績評価の割合(定期試験、レポート、授業での発表等)に従い、成績評価基準に基づいて公正かつ厳格に行います。

■成績評価基準

成績評価の割合(定期試験、レポート、授業での発表等)を総合して 100 点法により評価し、評点が 60 点以上で単位認定となります。なお、評定は次の区分により行います。ただし、特別研究、工学基礎研究、地域創生工学研究、インターンシップおよび海外インターンシップは、S・A・B・C・F で評定します。

評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0
評語	S	A	B	C	F
	合格				不合格
Grade Point (GP)	4	3	2	1	0

